

## 福岡県公共図書館等協議会「資料収集・保存委員会」報告

### ① 設置目的

近年の図書館に対する住民の高度化・多様化する要求にこたえるためには、肥大化・多様化した図書館資料を各図書館が効率的に収集・保存するとともに、県内公共図書館が連携しながら収集・保存・提供していく必要がある。そこで、これからの図書館資料の収集・保存の在り方やその実施方法についての調査研究を行う。

### ② 検討経過

資料の効率的な収集・保存を実現するためには、県内公共図書館（室）の実態把握が必要である。20年度は分担収集・分担保存を推進していくため、地域（郷土）資料の実態について調査し、県内の現状を把握するため、「地域（郷土）資料についてアンケート調査」を実施した。

### ③ 協議の概要

テーマ： 「地域（郷土）資料についてアンケート調査」について

第1回委員会（平成20年 7月17日）

第2回委員会（平成20年11月20日）

第3回委員会（平成21年 2月19日）

### ④ 協議結果のまとめ

この調査から、福岡県内各公共図書館、図書室等では地域（郷土）資料の収集について意識的に取り組んでいるが、整理・保存・提供・連携等については、設備面、技術面、運営面からそれぞれに不十分な点があることがわかった。なお、調査結果の詳細については、福岡県立図書館HP上で公開している。

地域（郷土）資料は、その地域での収集・保存が重要で必要な資料群であるため、分担収集・分担保存の対象として取り組みやすい資料群である。

県内の各図書館・室等がそれぞれの地域の資料の収集・保存に責任を持つことで、福岡県全体としての地域（郷土）資料の網羅的な収集と保存が可能となる。

今後は、今回の調査で明らかになった各図書館・室等からの課題（「地域（郷土）資料の基準・方針」、「保存や整理のノウハウ」、「行政機関との連携」等）をテーマとする研修会等を実施し、地域（郷土）資料の理解を深め、福岡県全体としての地域（郷土）資料の充実を図るとともに、地域（郷土）資料の分担収集・分担保存の在り方についてもさらなる研究をすすめることが必要である。